

平成28年度作野小学校3年生のきらめき学習

I 福祉体験

1 目的

福祉ボランティアの方を講師として招き、福祉の話を聞いたり実際に点字や手話等の体験をしたりして、お年寄りや障害をもった人たちのことを考える機会とする。

2 日時 平成28年11月16日(水) 9:30～11:40

3 場所 3年生各教室・廊下・階段・体育館

4 体験内容(各学級を4等分して、1人1種類を体験する。)

- ・ 手話体験 講師2名
- ・ 車椅子体験 講師3名
- ・ 高齢者疑似体験 講師6名
- ・ 点字体験 講師2名

5 日程

- ① はじめのことば
- ② 講師紹介
- ③ 体験活動① (講師の方の話や説明・体験活動)
- ④ 休憩 (講師の方とのふれ合い)
- ⑤ 体験活動② (体験活動と片づけ)
- ⑥ お礼のことば
- ⑦ おわりのことば

6 その他

- ・ 各学級できらめき学習(総合的な学習)の時間を使って、その体験の事前学習・準備を行った。
- ・ この時間を親子ふれ合い活動とし、保護者にも体験してもらった。

7 活動効果

- ・ 装具や道具をお借りすることで疑似体験ができ、実際に高齢者や障害のある方たちの大変さや気持ちを感じることができた。
 - ・ この体験を通して、高齢者や障害のある方たちの実生活での苦労や工夫を知ることができた。また、補助の仕方を学び、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを知った。
-
- ・ 講師の方と親しく話したり活動したりすることで、障害をもつ方の生活を知り、今後自分たちにとってできることは何かを考える機会となった。
 - ・ 以下、保護者の感想である。
 - ・ 点字を目にする機会があっても全く知りませんでした。講師の方のわかりやすい説明で、子供と一緒に読み書きができた経験は大きかったです。今度、町にある点字を見つけたら、実際に触れて読んでみたいと思います。
 - ・ 車椅子を使われている方の生活する上での様々な工夫を知ることができました。私たちも声をかけ合い、必要なお手伝いができるように心がけたいと思います。
 - ・ 目の不自由な方や福祉などの仕事に就いている方のお話を親子で聞き、福祉の大切さや人を思いやる心を考えるきっかけとなりました。子供達が真剣に取り組む姿勢を見て、将来少しでも障害のある方への気遣いやお手伝いができる大人になって欲しいと思いました。

Ⅱ 高齢者との交流会

1 目的

作野福祉センターの施設・デイサービスの見学で気づいた事を考慮して交流会の計画・実施をすることで、高齢者についての理解を深める。

2 日時 平成28年6月～平成29年2月

3 場所 安城市作野福祉センター

4 体験内容（各学級別に見学し、交流会を計画・実施）

平成28年6月	作野福祉センターの施設見学
平成28年10月	デイサービスの見学
平成29年2月	高齢者との交流会

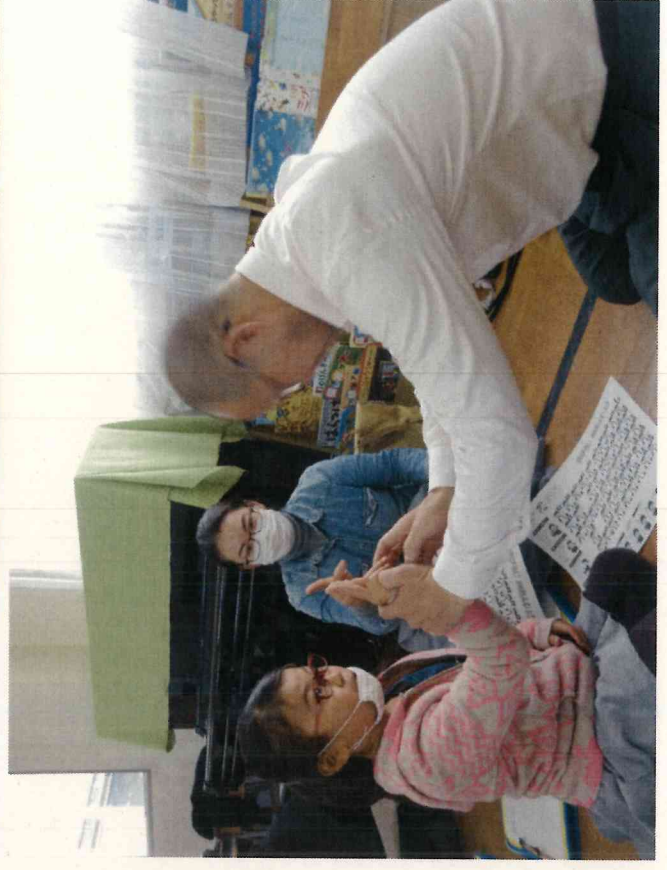
5 その他

- 各学級で、施設・デイサービスの見学で気づいたことを考慮して、交流会の計画を立てた。

6 活動効果

- デイサービスのレクリエーションの時間を見学し、高齢者ができること・してもらえるとよいことは何かを感じ、それをふまえた交流会の計画を立てることができた。
- 高齢者の方に、どうしたら喜んでもらえるのかを考えることで、相手の立場を思いやる気持ちがより深まった。
- 交流会では、高齢者の方と直接話したり、一緒にゲームを楽しんだりする時間を設けるように心がけ、楽しく過ごすことができた。自分たちが用意したゲームや手遊びを一緒にするなどの活動が高齢者に喜んでもらえたことで、子どもたちの福祉に対する意識が高まった。

体験の様子 I 福祉体験



体験の様子 II 高齢者との交流会

